

開催日時	令和8年9月28日（月） 19時00分～21時00分
開催場所	Web
出席者	鈴木 梅本 梶原
欠席者	畠中
記録者	鈴木
議題1	セミナーの参加者層と全体構成
【内容】参加者は管理職層や生成AIの利用経験が少ない初学者が多いことを想定し、生成AIの基本事項を説明する座学と、スマートフォンを使用したハンズオンを組み合わせる構成を予演した。スマートフォンでの操作は想定以上に時間を要するため、当日は基本操作に重点を置き、詳細な手順は画面録画やアーカイブで補う方向とした。	
【決定事項】 管理職層や初学者を想定した内容で構成し、講義部分は30分程度とする。座学とハンズオンのバランスを見直し、不要な内容は削減する。参加者全員の操作を待って進行するのではなく、操作についていけない参加者をサポートしながら進行する。「ソースを1つ追加してチャットできるところ」までは重点的に支援する。開始前にはQRコードを掲載したページを投影し、紙資料も準備する。参加者の経験年数等については、直前に参加者名簿を確認したうえで内容を調整する。	
議題2	生成AI活用に関する講義内容と注意事項
【内容】生成AIを活用する目的を、作業時間を短縮するだけでなく、考える余白を作り、適切な判断を行いやすくすることと整理した。個人の端末、個人のGoogleアカウント、公開資料のみを使用することを前提とし、情報入力時の安全性やプライバシー、生成AIの出力内容の確認、著作権等について説明する構成とした。	
【決定事項】個人情報の入力厳禁とし、動作動画やマスキングした情報も個人情報にあたることを明示する。使用する情報は厚生労働省等の公的情報を中心とする。情報を入力する際には、「入れてよいか」「どこにいつまで保存されるか」「誰に見られるか」「出力を正しく利用できるか」という4つの判断軸を説明する。Geminiの「アクティビティの保存」はオフにするよう案内し、NotebookLMの評価（フィードバック）機能についても、不用意に利用しないよう周知する。また、共有権限や2段階認証についても確認・推奨する。生成AIの出力については必ず人が確認し、最終的な判断と責任は人が持つことを強調する。あわせて、シャドウAI、3省2ガイドライン、関連する活用ガイドラインについて紹介する。引用・加工した情報については出典を明記し、著作権や投稿規定にも配慮する。	
議題3	NotebookLMを活用したハンズオンの内容・運営方法
【内容】厚生労働省の資料をNotebookLMに追加し、チャットで情報を整理する一連の操作を予演した。その中で、Android端末ではPDFが直接ダウンロードされ、Webサイトとして登録できないことがあることや、スマートフォン版では英語表記や画面操作が初学者にとって分かりにくいことが確認された。また、参加者が実際に行う操作範囲と、講師がデモとして紹介する機能について整理した。	
【決定事項】NotebookLMへのソース追加については、リンクを長押ししてURLをコピーし、「ソースを追加」から「ウェブサイト」を選択して貼り付ける手順を資料に記載する。ソースは3つすべてを追加する必要はなく、1つ追加できればよいこととする。古いAndroid端末でも動作確認を行い、不具合が発生した場合の対応を準備する。NotebookLMの完成イメージを最初に提示し、「New notebook」「Sources」「Chat」「Studio」等の画面やボタンについて資料で補足する。英語表記についてはそのまま使用し、日本語との対応関係を説明する。参加者が実際に操作する範囲は、基本的なプロンプト入力と構成案作成までとし、スライド生成等の高度な機能は講師によるデモとする。スライド生成やショート動画などの最新機能については、終盤に短時間で紹介する。引用番号から一次情報を確認する操作については概要説明にとどめる。当日のスマートフォン操作については画面録画を作成し、当日の進行や復習用素材として活用する。詳細な操作手順については、画面録画やアーカイブで補足する。	
次回の予定	日時：未定
日時・場所	場所：未定
今後の予定	